



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



世界で最も美しい湾 富山湾

神秘的な湾・富山湾は、2014年10月、「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認されました。このクラブには、世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、世界の選ばれた44湾（26カ国・1地域）が加盟しています。（2019年9月現在）

One of the Most Beautiful Bays in the World: Toyama Bay
The mysterious sea of Toyama Bay was inducted as a member of the Most Beautiful Bays in the World Club in October of 2014. The organization is made up of 44 bays selected from 26 countries and 1 region around the world, including the World Heritage sites Mont-Saint-Michel Bay in France and Ha Long Bay in Vietnam, as well as other scenic bays. As of September 2019.

「氷見・唐島越しの立山連峰」

Himi: The Tateyama Mountain Range seen across the bay near Karashima



海越しに3,000m級の山々を望めるのは、世界でも非常に希な景観。氷見沖の向こうに浮かぶようにそびえ立つ立山連峰の雄大な（ノラマで、比較的よく見ることが出来る時期は11月から3月頃のよく冷え込んだ日です。またその日の時間によっても景色が異なります。）

TOPICS ● トピックス

新型コロナウイルス 感染症のギモン Q&A

氷見沖に望む唐島

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	新型コロナウイルス感染症のギモン Q&A	P.01
特集	ポリファーマシー（薬の多剤併用）について	P.02
	藤田先生の診察室から	P.03
	診療コラム	P.04
	病院★ニュース	P.05
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



まだまだ注意が必要！ 新型コロナウイルス感染症の ギモンQ&A

Q1 変異株(デルタ株、ミュー株など)ってなに？

COVID-19では、従来よりも感染力が強く、症状が重症化しやすい変異株が問題になっています。ウイルスは自分のコピーを作るための設計図をヒトの細胞内に感染させ、自分のコピーを増やすことで猛威をふるいます。この、コピーを作る際に生まれてくるのが変異株です。より強い変異株を作っているというより、たまたま強くなった変異株が生き残って世界中に広がっていると考えるほうが正しいかもしれません。ウイルスを広げてしまうのは「ヒトの移動・人流」が考えられます。生活に必要な最小限のヒトの移動はやむをえませんが、引き続き不要・不急な移動の自粛が望まれます。

Q2 ワクチン接種は必要なの？

重症なCOVID-19では肺炎のため酸素交換が十分に行われなくなり死に至ります。

このような重症者にはECMO（エクモ）と呼ばれる人工心肺装置が使われ、肺炎が回復するまで「機械の肺」で生命を維持する必要があります。COVID-19ワクチンの接種を済ませていれば、感染も予防され、重症化も起こり難いとされています。一方、ワクチン接種を受けていない若いCOVID-19患者さんが自宅療養中に急激に病状が悪化し亡くなってしまいう報道も見受けられました。できれば可能な限り多くの方のワクチン接種が望まれます。

Q3 抗体カクテル療法とは？

COVID-19の感染早期に「抗体カクテル療法」と呼ばれる点滴を受けると重症化が予防されたり、治療の経過も短縮されることが分かります。実際の治療の現場で利用されています。この「抗体カクテル療法」の原理は、コロナウイルスに対する抗体(免疫の一部)を投与することで、ウイルスがヒトの細胞に結合できなくなりウイルスのコピーを作れなくして猛威をふるわせないようにする治療法です。この理論上、感染早期の治療が必要です。基礎疾患があり、重症化の恐れのある患者さんには必要不可欠な治療といえます。

また、予防薬や無症状者への治療薬としても検討されています。

新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)が猛威をふるい、まだまだ世界中で収まりがつかない状況ですが、我が国では若年層までの予防接種が進んでいます。

ただし、富山県内でも医療の現場では、まだまだCOVID-19について気が抜けません。そこで、改めてCOVID-19の注意点や新たな疑問についてQ&Aで振り返りましょう。

およそ1年半前のCOVID-19の流行がはじまった際には有効な治療法が確立されておらず手探り状態でしたが、現在は予防法や治療法がわかってきています。この間にはインターネットを介した会議、学会などの新しい社会の在り方・様式が議論され、少しずつ将来のCOVID-19後の社会活動にも希望が見られるようになってきました。ただし、医療の現場ではまだまだ予断を許しません。完全にCOVID-19を克服するまで、注意深い日々の生活を送りましょう。

ポリファーマシー（薬の多剤併用）について

皆さんは「ポリファーマシー」という言葉を聞いたことがありますか？

「Poly（多くの）」と「Pharmacy（調剤）」を合わせた造語です。ただ単に多種類の薬を飲んでいくことではなく、多種類の薬を飲むことによって副作用が生じたり、薬の飲み忘れや飲み間違いなど、正しく薬が服用できていないことで、薬物有害事象につながる状態のことをいいます。

＊副作用と薬物有害事象の違い

・副作用：薬の使用により生じた、薬との関連を否定できない有害な反応
 （例：薬を飲んだら発疹が出た）

・薬物有害事象：薬の使用により生じた有害な反応で、薬との関連を問わない事象
 （例：睡眠薬を飲むようになってから、転びやすくなり骨折した）

ポリファーマシーの対策

●自己判断せず医師や薬剤師に相談しましょう！

薬が多いからといって必ず減らすべきということではありません。

薬によっては急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。

自己判断せずに、気になる点があったら必ず医師や薬剤師に相談しましょう。

●「お薬手帳」を持ちましょう！

お薬手帳は1冊にまとめることをお勧めします。

病院ごとや薬局ごとに、別々のお薬手帳を作らず、飲んでいるすべての薬を1冊で管理しましょう。また、市販の薬や健康食品・サプリメントを飲んでいる場合は、その情報も伝えましょう。

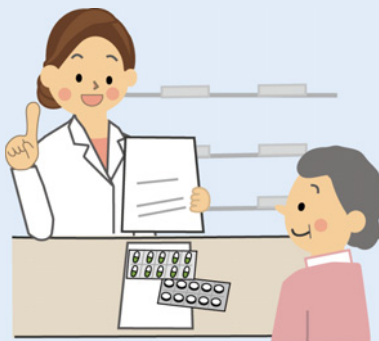


できれば使用を控えたい薬

使用を控えたい薬のひとつとして、ベンゾジアゼピン系の睡眠薬が挙げられます。

特に高齢者では、ふらつきや転倒が起きやすくなったり、物事の判断や記憶するといった認知機能の低下がみられることがあります。近年、既存の睡眠薬と比較して安全性が高いといわれている新しいタイプの薬剤（ロゼレム、ベルソムラ、デエビゴ）が登場しています。

不眠の症状に合った睡眠薬を処方してもらい、医師の指示通りに正しく使うことが大切です。



藤田先生の
診察室から

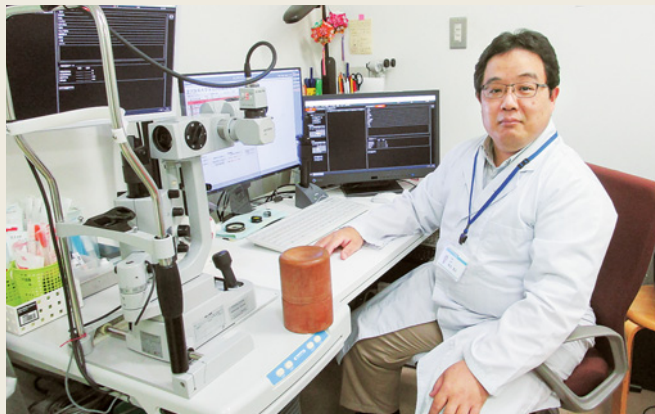
眼科 助教

藤田 信之

FUJITA
NOBUYUKI

2 019年4月に眼科の診療科長として赴任し、今年で3年目を迎えました。

眼科医療に携わるようになり20年が経過しました。この20年で私が感じる大きな変化は、緑内障を代表とする慢



性疾患の薬物治療の進歩、白内障手術にて挿入する人工眼内レンズの進歩、検査機械の進歩の3つです。

緑内障は眼圧という目の内圧が神経を圧迫障害する疾患で、眼圧のコントロールが重要です。緑内障点眼は併用できる点眼の種類も増えましたが、近年は合剤という、2種類の薬剤を1本にまとめた点眼が数多く開発され、少ない点眼回数で大きな効果を得ることができるようになりました。

白内障手術に用いる眼内レンズは、乱視矯正のレンズや多焦点レンズ(複数の距離にピントが合うレンズ)が開発され、術後の視機能の改善に大きく寄与しております。

検査機械では、眼内の状態を1000分の1単位で計測できる機械が普及し、加齢性黄斑変性や緑内障のような慢性進行性疾患の診断、治療効果の判定になくてはならない検査となりました。

これらの進歩により、疾患の予後が改善され、生活の質を高くすることが可能になってきております。より良い見え方を維持することは、身体機能、精神活動を維持するためにもとても重要です。

この医療の進歩の恩恵を少しでも役立てることができるよう、一日も早くコロナ禍が終息し、安全安心な医療が、以前のように提供できる状況になることを切に望みます。

今後も、患者さんがより一層安心して診療を受けていただけるよう、わかりやすい説明を心がけ、高度な医療技術を提供できるよう努めていきたいと思っております。

藤田 信之 ★ 略歴

【学歴・職歴】

- 1999年3月 金沢医科大学卒業
- 2001年4月 金沢医科大学 眼科 入局
- 2003年9月 姫川病院 眼科医長
- 2005年4月 金沢医科大学 眼科 助手
- 2019年4月 金沢医科大学氷見市民病院 眼科 助教

【資格】

- 視覚障害者用補助装置適合判定医師



診療コラム

認知症看護認定看護師

看護部 山田みどり

2020年に、認知症看護認定看護師の資格を取得し、現在は内科病棟である5階西病棟に勤務しています。

現在、65歳以上の4人に1人は認知症あるいは認知症予備軍といわれています。当院の入院患者さんは65歳以上の高齢の方が多く、必然的に認知症の患者さんもおられます。

急性期医療の現場において、認知症の患者さんは入院の原因となった疾患による身体の不調や急な環境の変化などにより、せん妄や行動・心理症状の出現が起こりやすいです。

せん妄や行動・心理症状が出現すると、必要な医療が提供でき

なかったり、転倒などの危険性が高くなり、安全な入院環境を確保することが困難になることがあり、これまで悩むことが多かったです。認知症の症状の悪化やせん妄、行動・心理症状の出現を予防し、治療を円滑に受けていただくために、認知症という症状・病態を理解し、認知症の方の必要としている看護・ケアを提供したいと考え、認知症看護認定看護師の資格の取得を目指しました。

資格を取得後、認定看護師の教育課程での学びを活かし、病棟での看護の実践や院内での認知症に関する研修などを行っています。認知症の患者さんの気

持ちになって考え、寄り添い、共感することを大切にし、看護を行っています。日々の看護の中でまだまだ悩むことは多いのですが、病棟スタッフ、他職種と協同し、認知症の患者さんが心地よく過ごしていただけるよう入院の環境を整え、認知症の

患者さんの意思を尊重し、その方にあったケアを提供できるよう取り組んでいきたいと考えています。



氷見高校生の1日看護見学

日程：令和3年8月11日(水)、12日(木)

氷見市との共催により、氷見高校生を対象とした1日看護見学を実施しました。本事業は、地域の学校と病院が連携を深めることを目的に、今年初めて企画されたもので、氷見高校に在学する生徒36名が2日間に分かれて感染対策を行いながら参加しました。

初めに、高木看護部長から病院や看護部の紹介、認知症看護認定看護師の山田看護師から看護観について講義が行われ、その後、グループに分かれて外来部門の看護見学や、車いす搬送、血圧測定、生体モニター装着等の看護体験、体験終了後には、看護師を交えて看護の仕事や進路について座談会を行いました。

参加した学生は、見慣れない環境に初めは緊張した様子でしたが、終了後には、「看護師は患者さんや他職種とうまくコミュニケーションをとっていた」、「患者さんへの笑顔が素敵だった、私も笑顔で対応できるようにになりたい」、「貴重な体験を通じて看護師の道を選びたい」という思いが強くなったなど、皆思い思いの感想を寄せてくれました。今回の「氷見高校生の1日看護見学」が、看護の道を目指す高校生に有益な機会となり、将来、共に地域医療に携わり、互いに看護観を語れる時が訪れることを期待しています。



感染防止対策地域連携加算に係る連携医療機関相互ラウンド

日程：令和3年9月24日(金) 13時30分

右記日程において、感染防止対策地域連携加算に係る連携医療機関相互ラウンドが当院で行われました。この相互ラウンドは、感染防止対策地域連携加算1を算定する富山県内の7病院間で毎年実施され、今年も富山県済生会富山病院から医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員の5名が訪問されました。

はじめに両病院の挨拶や自己紹介、事前打合せを行ったあと院内ラウンドが実施され、病棟や外来、中央臨床検査部、救急外来、発熱外来など各部署を訪問し、現場での感染対策の実施状況が確認されました。ラウンド後に行われた書類審査では、事前に実施した自己評価に基づき聞き取り調査が行われました。今回の訪問を受け、的確なアドバイスをいただき、今後取り組むべき課題について認識を新たにすることができました。

デジタルサイネージの設置について

8月から、1階エントランスホールにデジタルサイネージ(電子看板)を設置しました。

これは、大型ディスプレイを用いて、病院利用者の皆様に病院から情報提供を行なうものです。現在は、新型コロナウイルス感染症対策の啓発活動や職員募集情報、その他病院からの案内について掲載しております。

今後とも病院利用者の皆さま向けの情報がありましたら、随時追加更新していきますので、診察や会計の待ち時間などにぜひご覧いただければ幸いです。



病院からのお知らせ掲示板

● マイナンバーカードで健康保険証の確認ができます

マイナンバーカードが令和3年10月から健康保険証として利用可能となりました。

1階の総合受付に設置してある「顔認証付きカードリーダー」にマイナンバーカードをかざすことで医療保険資格の最新の情報が確認できます。

利用に際しては、事前に利用申込が必要となります。スマートフォンやパソコンから「マイナポータル」のアプリをダウンロードし申込手続きを行ってください。また、当院1階の総合受付やセブンイレブン「セブン銀行ATM」、氷見市役所1階フロアでも申込手続きが可能です。

なお、従来の健康保険証も利用できますので、受診の際には必ず「健康保険証」または事前登録された「マイナンバーカード」をご持参ください。



顔認証付きカードリーダー

● 病棟に公衆無線LANサービスを導入しました

9月1日から、入院患者さんの利便性向上を目的に、3階から5階の各病棟のダイニングスペースに公衆無線LANサービスを導入しました。

無料Wi-Fiに対応した端末（スマートフォン・タブレット・パソコン等）をお持ちの方はご利用いただけます。コロナ禍におけるオンライン面会にもご利用いただければ幸いです。

ご利用方法については、当院ホームページおよび病棟ダイニングに「無線LAN利用規約」を掲示しておりますので参照ください。

● 利用可能エリア

3階～5階

病棟ダイニング

● 利用可能時間

8時～20時

● 利用方法

当院ホームページに掲載の「無線LAN利用規約」をご参照ください

※SSIDやパスワードは病棟ダイニングに掲示



● ホームページの求人情報掲載のご案内

現在当院では、看護師、薬剤師、言語聴覚士、看護補助員を募集しています。最新の求人情報については、当院のホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。採用に関するお問い合わせについては、人事課までご連絡ください。

● 問合せ先 人事課

電話 076617411900
(内線2011、2012)



最新の求人情報はホームページよりご覧いただけます。QRコードまたは、左記URLからアクセスしてください。



<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/recruitinfo/index.html#page>

● 年末年始休診のお知らせ

12月29日(水)～1月3日(月)までの6日間は外来診療を休止します。

緊急の場合や救急患者さんについては、救急外来にて常時対応します。

受診の際は必ず健康保険証をご持参ください。

なお、休日・夜間の救急外来は、通常の診療体制とは異なり、すべての診療科の専門医が常駐しているわけではありません。

緊急を要しない場合は、通常の外来診療日に受診いただくよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

藤子不二雄[®]まんがワールド

氷見市は、「忍者ハットリくん」や「怪物くん」など数多くの代表作をもつまんが家の藤子不二雄[®]先生の出身地です。

氷見の市街地では、「藤子不二雄[®]まんがワールド」と称して、「氷見市潮風ギャラリー」にある藤子不二雄[®]アートコレクションや、キャラクターが座っている「喪黒福造のスマイルベンチ」、氷見駅前どおりの「怪物くんストリート」など、藤子不二雄[®]先生ゆかりの作品を楽しむことのできるスポットがたくさんあり、道行く人を楽しませてくれます。コロナ禍で遠方への旅行が難しい今、氷見市内のスポットを巡って改めて藤子不二雄[®]先生の魅力を感じてみてはいかがでしょうか？



「喪黒福造のスマイルベンチ」



「怪物くんストリート」

表紙について

四季を通して、様々な景色を見せてくれる富山湾。この日は、あいにく立山の姿は雲に隠れていましたが、比美乃江公園から見える唐島越しの美しい富山湾の景色と穏やかな波の音色に、目も耳も癒されました。

もうすぐ、寒ブリやカニの美味しい季節がやってきますね。美味しいものをたくさん食べて、冬の富山湾の幸を感じたいと思います。

編集後記

酷暑だった夏が終わり、吹き抜ける秋風が心地よい季節となりました。今年の夏は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されました。新型コロナウイルスが流行する中での大会でしたが、日本はこれまでの大会を上回る数の金メダルを獲得し、日本中を盛り上げ、見るものに多くの感動を与えてくれました。

さて、秋といえばスポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…○○の秋という言葉がありますが、私はやっぱり食欲の秋ですね。秋ならではの野菜や果物、魚など秋の味覚を考えただけで笑顔になり食欲が増すばかりです。季節の移り変わりにより体調を崩しやすい時期ですが、しっかり健康管理を行い、それぞれの秋を満喫したいものです。

かけはし秋号編集委員 中央臨床検査部 上野 美里

■広報誌「かけはし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。